

# 横浜医療専門学校に関する情報の提供

(平成 28 年度・改訂版)

1. 学校の概要、目標及び計画
2. 設置する学科
3. 教職員
4. 実践的職業教育の推進  
(本校は職業実践専門課程の認定校です)
5. 教育活動・教育環境
6. 学生支援
7. 学生の受入れ募集
8. 財 務
9. 自己評価・学校関係者評価

# 目 次

## 【学校の概要、目標及び計画】

1. 学校の所在地、連絡先、校長名 . . . . . 2
2. 学校の教育・人材養成の目標 . . . . . 3
3. 学校の経営方針・特色 . . . . . 3
4. 学校の沿革 . . . . . 4
5. 年間スケジュール . . . . . 4

## 【設置する学科】

1. 学科、修業年限および定員 . . . . . 4
2. 柔道整復師科 . . . . . 5
3. 鍼灸師科 . . . . . 5
4. カリキュラム . . . . . 6
5. 卒業要件 . . . . . 8
6. 卒業することで得られる称号並びに資格 . . . . . 8
7. 国家試験受験状況 . . . . . 8
8. 卒業後の進路 . . . . . 8
9. 主な就職先 . . . . . 9

## 【教職員】

1. 教職員数 . . . . . 10
2. 教員の専門性 . . . . . 10

## 【実践的職業教育の推進】

1. 企業等と連携した授業の実施 . . . . . 11
2. 実技・実習への取組 . . . . . 12
3. 就職支援 . . . . . 14
4. 就職先の例 . . . . . 14

## 【教育活動・教育環境】

1. 学校行事 . . . . . 15
2. 教育環境 . . . . . 15
3. 教育設備 . . . . . 16
4. 附属接骨鍼灸院 . . . . . 17

## 【学生支援】

1. クラス担任制度 . . . . . 17
2. 学費サポート . . . . . 17
3. 横浜医療専門学校独自の奨学金 . . . . . 20

## 【学生の受入れ募集】

1. 学校説明会 . . . . . 20
2. 入学試験 . . . . . 21
3. 学生納付金 . . . . . 22

## 【財 務】 . . . . . 22

## 【自己評価・学校関係者評価】 . . . . . 22

## 【学校の概要、目標及び計画】

### 1. 学校の所在地、連絡先、校長名

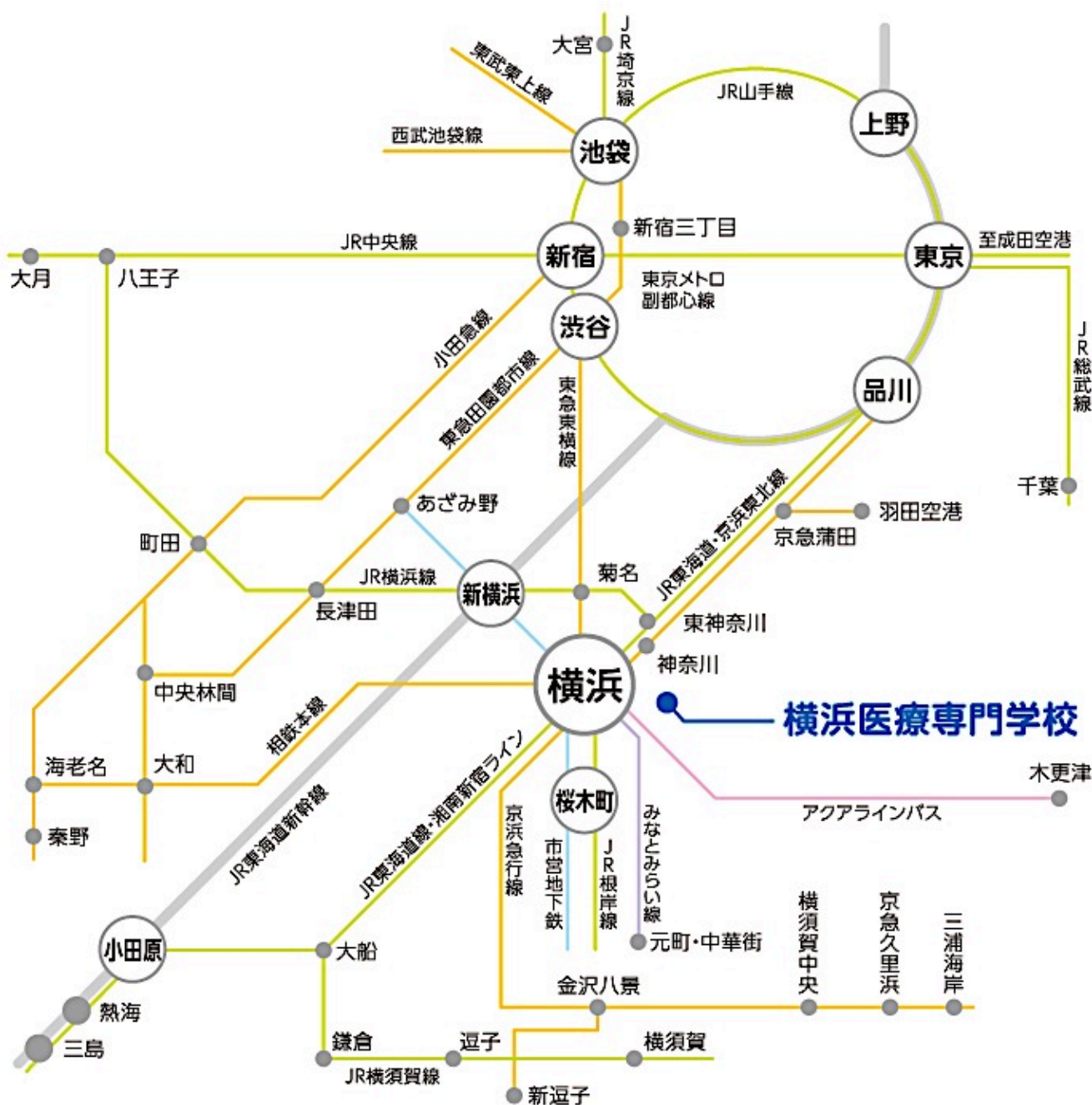
〒221-0056 神奈川県横浜市神奈川区金港町 9-12

TEL 045-440-1750 (代表)

学校長 吉田 重光

アクセス1：JR・東急・京急・相鉄・みなとみらい・市営地下鉄各線「横浜駅」下車  
徒歩5分 きた東口A（京急改札口向いエスカレーター昇る）

アクセス2：京急「神奈川駅」正面





## 2. 学校の教育・人材養成の目標

横浜医療専門学校は、徳義の涵養と人間性尊厳の実践を理念とし、医療人たる社会的責務を自覚せしめ、国際社会に伍して恥じぬ恒心をもつ、有徳の人材を育成することを目的としています。

## 3. 学校の経営方針・特色

横浜医療専門学校は、医療の最前線に立つ治療家が「自分たちの手で後進を育てたい」との「情熱」で創設した学校で、全国の治療家などで行う全国柔整鍼灸協同組合を母体としています。

そのため、業界に圧倒的ネットワークを有しており、このネットワークを最大限に活かし、就職はもちろん独立や開業を的確に、そして強力にサポートします。

横浜医療専門学校では、痛みで苦しむ人を一人でも多く助けたい、未来に向けてもっと医療の可能性を広げたい、そんな熱い想いを抱いて教育にあたっています。

#### 4. 学校の沿革

- 2000年4月：大阪に平成柔道整復専門学院を創設  
 2001年4月：大阪府より認可を受け、学校法人平成医療学園となり、校名を平成医療学園専門学校に改称。専修学校医療専門課程となる。  
 2005年4月：横浜医療専門学院を開校  
 柔道整復師科昼間部（60名）、夜間部（60名）  
 鍼灸師科昼間部（60名）、夜間部（60名）  
 2007年4月：神奈川県より認可を受け、校名を「横浜医療専門学校」に改称。専修学校医療専門課程となる。  
 2015年4月：専門実践教育訓練給付講座の指定を受ける。  
 2016年2月：職業実践専門課程の認定を受ける。

#### 5. 年間スケジュール

- 4月：入学式、オリエンテーション  
 前期授業開始  
 新入生歓迎会  
 6月：健康診断  
 8月：前期授業終了、前期末試験  
 夏季休業  
 トレーナー実地研修  
 9月：後期授業開始  
 10月：就職相談会  
 スポーツ大会  
 12月末～1月初：冬季休業  
 1月：解剖見学実習（神奈川歯科大学）  
 2月末：はり師きゅう師国家試験  
 3月初：柔道整復師国家試験  
 3月：後期授業終了、後期末試験  
 卒業式  
 春季休業



#### 【設置する学科】

##### 1. 学科、修業年限および定員（神奈川県内で唯一、夜間部を設置しています。）

| 学科名    |     | 募集人数 | 授業時間        | 授業日     | 修学年限 |
|--------|-----|------|-------------|---------|------|
| 鍼灸師科   | 昼間部 | 60名  | 9:00～12:10  | 月曜日～土曜日 | 3年   |
|        | 夜間部 | 60名  | 18:00～21:10 |         |      |
| 柔道整復師科 | 昼間部 | 60名  | 13:00～16:10 |         |      |
|        | 夜間部 | 60名  | 18:00～21:10 |         |      |

## 2. 柔道整復師科



学科紹介  
**柔道整復師科** 3年制

|             |             |
|-------------|-------------|
| 昼間部 (60名)   | 夜間部 (60名)   |
| 13:00~16:10 | 18:00~21:10 |

日本古来の柔術を起源とした伝統の技と最新の医療技術が融合した柔道整復術。受け継がれてきた手技と、骨や関節、筋肉などの知識を習得します。国家資格を取得し、医療の道を歩みだす知識はもちろん、思いやりの心や社会常識など、内面的な成長とともに“医療人”として歩みはじめます。

## 3. 鍼灸師科



学科紹介  
**鍼灸師科** 3年制

|            |             |
|------------|-------------|
| 昼間部 (各60名) | 夜間部 (60名)   |
| 9:00~12:10 | 18:00~21:10 |

2,000年以上とも言われる歴史の中で、築き上げられた鍼灸術。マクロ視点で心身の調和を図る、東洋医学の思想を引き継ぐ医療を学びます。国家資格を取得するための知識はもちろん、実習を通して活躍できる鍼灸師として、“医療人”ストーリーがはじまります。

※両科在籍制度（支援制度については20ページを参照して下さい。）

鍼灸術と柔道整復術を同時に学びたい方のため、両科在籍者に対する学費支援制度を設けています。午前、午後、夜間の時間帯を使い分けて両科を履修し、3~5年という短期間で鍼灸術と柔道整復術を学ぶことが可能となります。はり師、きゅう師、柔道整復師の3つの医療資格を身に付ければ、就職、独立、開業に有利です。

| 午前         | 午後           | 夜間           |
|------------|--------------|--------------|
| 通学時間       | 柔道整復師科 [昼間部] | 鍼灸師科 [夜間部]   |
| 鍼灸師科 [昼間部] | アルバイト        | 柔道整復師科 [夜間部] |
| 鍼灸師科 [昼間部] | 柔道整復師科 [昼間部] | 自主学习         |

#### 4. カリキュラム (柔道整復師科)

|               |                               | 1年  | 2年   | 3年   |
|---------------|-------------------------------|---|--|--|
|               |                               | <b>柔道整復師として、医療の基礎力を養う。</b><br>解剖学や生理学など、基礎的な医学と、柔道整復術の基礎から理解を深めていきます。 | <b>臨床をはじめとする幅広い分野を学ぶ。</b><br>臨床についての技術と知識、また病理学や一般臨床医学など、幅広い分野についても学びます。 | <b>現場で生きる技術を学び、国家試験に備える。</b><br>実際の現場を想定した技術を演習や実習を通し、身に付けます。本格的な国家試験対策も実施します。 |
| <b>基礎分野</b>   | 科学的思考の基盤、人間と生活                | 自然科学Ⅰ～Ⅲ、外国語、生命科学Ⅰ・Ⅱ、人文科学  |  |  |
| <b>専門基礎分野</b> | 人体の構造と機能                      | 解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ   | 解剖学Ⅲ・Ⅳ、生理学Ⅱ  | 運動学  |
|               | 疾病と障害                         |   | 病理学概論、外科学概論、一般臨床医学Ⅰ  | 整形外科学、リハビリテーション医学、一般臨床医学Ⅱ  |
|               | 保健医療福祉と柔道整復の理念                | 医療概論・医学史  | 衛生学・公衆衛生学、柔道   | 関係法規   |
| <b>専門分野</b>   | 基礎柔道整復学                       | 柔道整復理論Ⅰ～Ⅳ   |  | 柔道整復理論Ⅴ  |
|               | 臨床柔道整復学                       | 臨床柔道整復学Ⅰ  | 臨床柔道整復学Ⅱ～Ⅴ   | 臨床柔道整復学Ⅵ・Ⅶ   |
|               | 柔道整復実技                        | 柔道整復実技Ⅰ・Ⅱ   | 柔道整復実技Ⅲ～Ⅴ  | 柔道整復実技Ⅵ～Ⅷ、臨床実習   |
| <b>必修科目</b>   | 総合領域                          |   |  | 総合領域   |
| <b>統合教育科目</b> | 柔道整復の臨床のために必要な知識の習得及びより効果的な教育 | 基礎柔道整復演習Ⅰ・Ⅱ   | 応用柔道整復演習Ⅰ・Ⅱ  | 応用柔道整復演習Ⅲ  |
|               |                               | 職業教育Ⅰ・Ⅱ   | 職業教育Ⅲ～Ⅴ  |  |
|               |                               |   |  | 総合演習Ⅰ～Ⅴ  |



■ 柔道整復実技Ⅲ



■ 解剖学Ⅰ

(鍼灸師科)

|        |                                | 1年  | 2年   | 3年  |
|--------|--------------------------------|---|--|---|
|        |                                | <b>医療の基礎力を養い、鍼と灸の世界に触れる。</b><br>解剖学や生理学など、医療に関わる基礎的な医学と、実技を通して鍼灸の世界を学びます。 | <b>専門分野を学び、鍼灸術の実技習得へ。</b><br>専門的な内容の東洋医学臨床論や総合領域などを学び、実習時間も増やしながらか、鍼灸術を習得していきます。 | <b>専門分野の理解を深め、国家試験対策を万全に。</b><br>2年間で学んだことや、中国の伝統医学などの理解を深め、国家資格取得に向けての対策を本格化させていきます。 |
| 基礎分野   | 科学的思考の基盤、人間と生活                 | 自然科学Ⅰ～Ⅲ、外国語、生命科学Ⅰ・Ⅱ、人文科学  |  |   |
| 専門基礎分野 | 人体の構造と機能                       | 解剖学Ⅰ・Ⅱ、生理学Ⅰ・Ⅱ   | 解剖学Ⅲ・Ⅳ、生理学Ⅲ  |   |
|        | 疾病の成り立ち、その予防及び回復の促進            | 衛生学・公衆衛生学   | 病理学概論、臨床医学各論Ⅰ、臨床医学総論、リハビリテーション医学   | 臨床医学各論Ⅱ   |
|        | 保健医療福祉とはり及びきゅうの理念              |   |  | 医学概論・関係法規   |
| 専門分野   | 基礎はり学・基礎きゅう学                   | 経絡経穴学概論Ⅰ・Ⅱ、東洋医学概論   | はりきゅう理論  |   |
|        | 臨床はり学・臨床きゅう学                   | 東洋医学臨床論Ⅰ  | 東洋医学臨床論Ⅱ・Ⅲ   | 東洋医学臨床論Ⅳ・Ⅴ  |
|        | 社会はりきゅう学                       |   |  | 社会はりきゅう学  |
|        | はりきゅう実技                        | 基礎実習Ⅰ・Ⅱ   | 基礎実習Ⅲ～Ⅵ  | 基礎実習Ⅶ・Ⅷ、臨床実習  |
|        | 総合領域                           |   | 総合領域Ⅰ・Ⅱ  | 総合領域Ⅲ・Ⅳ   |
| 統合教育科目 | はりきゅうの臨床のために必要な知識の習得及びより効果的な教育 | 基礎はりきゅう学Ⅰ・Ⅱ、職業教育Ⅰ・Ⅱ   | 基礎はりきゅう学Ⅲ、臨床はりきゅう学Ⅰ、職業教育Ⅲ・Ⅳ  | 基礎はりきゅう学Ⅳ、臨床はりきゅう学Ⅱ～Ⅳ、総合演習Ⅰ～Ⅳ   |



■ 経絡経穴概論Ⅰ



■ 総合演習Ⅰ



## 5. 卒業要件

所定の年数以上在籍し、卒業までに開講されるすべての授業科目を履修し、かつ卒業に必要な授業科目の単位をすべて修得することを卒業要件とする。なお、成績評価は試験結果、出席状況その他授業態度などを総合的に勘案して行う。

## 6. 卒業することで得られる称号並びに資格

柔道整復師科：専門士（医療専門課程）、柔道整復師国家試験受験資格

鍼灸師科：専門士（医療専門課程）、はり師国家試験受験資格  
きゅう師国家試験受験資格

## 7. 国家試験受験状況

（平成 25 年度新規卒業者）

| 学科        | 受験者数 | 合格者数 | 合格率   | 全国平均  |
|-----------|------|------|-------|-------|
| 柔道整復師国家試験 | 70   | 68   | 97.1% | 91.3% |
| はり師国家試験   | 31   | 30   | 96.8% | 91.1% |
| きゅう師国家試験  | 31   | 30   | 96.8% | 92.4% |

（平成 26 年度新規卒業者）

| 学科        | 受験者数 | 合格者数 | 合格率   | 全国平均  |
|-----------|------|------|-------|-------|
| 柔道整復師国家試験 | 106  | 73   | 68.9% | 80.8% |
| はり師国家試験   | 50   | 47   | 94.0% | 93.3% |
| きゅう師国家試験  | 50   | 47   | 94.0% | 92.4% |

（平成 27 年度新規卒業者）

| 学科        | 受験者数 | 合格者数 | 合格率   | 全国平均  |
|-----------|------|------|-------|-------|
| 柔道整復師国家試験 | 86   | 66   | 76.7% | 82.2% |
| はり師国家試験   | 41   | 36   | 87.8% | 87.6% |
| きゅう師国家試験  | 41   | 37   | 90.2% | 88.9% |

## 8. 卒業後の進路状況

（平成 26 年 5 月 1 日現在、単位：名）

| 学科        | 卒業者数 | 就職者数 |       | 進学者数 | その他 |
|-----------|------|------|-------|------|-----|
|           |      | 関係分野 | その他分野 |      |     |
| 柔道整復師科 昼間 | 41   | 31   | 1     | 2    | 7   |
| 柔道整復師科 夜間 | 29   | 22   | 0     | 0    | 7   |
| 鍼灸師科 昼間   | 15   | 11   | 0     | 0    | 4   |
| 鍼灸師科 夜間   | 16   | 13   | 2     | 0    | 1   |
| 合計        | 101  | 77   | 3     | 2    | 19  |

(平成 27 年 5 月 1 日現在、単位：名)

| 学科        | 卒業生数 | 就職者数 |       | 進学者数 | その他 |
|-----------|------|------|-------|------|-----|
|           |      | 関係分野 | その他分野 |      |     |
| 柔道整復師科 昼間 | 52   | 41   | 1     | 3    | 7   |
| 柔道整復師科 夜間 | 55   | 40   | 0     | 0    | 15  |
| 鍼灸師科 昼間   | 34   | 23   | 0     | 2    | 9   |
| 鍼灸師科 夜間   | 16   | 5    | 7     | 0    | 4   |
| 合 計       | 157  | 109  | 8     | 5    | 35  |

(平成 28 年 5 月 1 日現在、単位：名)

| 学科        | 卒業生数 | 就職者数 |       | 進学者数 | その他 |
|-----------|------|------|-------|------|-----|
|           |      | 関係分野 | その他分野 |      |     |
| 柔道整復師科 昼間 | 44   | 36   | 0     | 1    | 7   |
| 柔道整復師科 夜間 | 42   | 29   | 2     | 3    | 8   |
| 鍼灸師科 昼間   | 28   | 11   | 0     | 5    | 12  |
| 鍼灸師科 夜間   | 13   | 12   | 1     | 0    | 0   |
| 合 計       | 127  | 88   | 3     | 9    | 27  |

## 9. 主な就職先

### (1) 柔道整復師科

柔道整復師は、整骨院や接骨院、病院などの整形外科が主な勤務先とありますが、近年活躍の場が広がっており、非常に需要の高い仕事でもあります。医療機関以外にもスポーツや健康の分野ではスポーツトレーナーとして、また介護・福祉の分野で機能訓練指導員[※]として働く人も増えています。

[※] 柔道整復師は、免許を取得すると同時に介護保険法上では「機能訓練指導員」という資格も取得したものとみなされ、老人福祉施設で勤務することもできます。



## (2) 鍼灸師科

鍼灸師では、鍼灸治療院の開業または勤務をする方が多く、最近では整形外科のリハビリや内科、神経内科などの疾患の治療に「鍼灸」を取り入れている病院に勤務する鍼灸師も増えています。また高齢化社会に伴って、高齢者関連施設である老人保護施設や有料老人ホームにおける鍼灸の需要が増えています。施設内の施術だけでなく、利用者宅に出向いて鍼灸を行う訪問リハビリテーションなどの求人も増えており需要の幅も広がっています。

さらに、医療・福祉・スポーツなどの分野以外でも、美容業界において、耳つぼダイエットや全身の気の流れを整えるような美容健康法を行う、女性の鍼灸師も増えてきており、女性の患者さんが増えることで、女性の活躍の場も広がってきています。



## 【教職員】

### 1. 教職員数

|        |                          |
|--------|--------------------------|
| 校長     | 1名                       |
| 柔道整復師科 | 専任教員8名以上、兼任教員8名以上、助手若干名  |
| 鍼灸師科   | 専任教員11名以上、兼任教員8名以上、助手若干名 |
| 事務職員   | 2名以上                     |
| 学校医    | 1名                       |

### 2. 教員の専門性

(1) 柔道整復師科：柔道整復師専科教員

(2) 鍼灸師科：はり師教員、きゅう師教員、あん摩マッサージ指圧師教員  
理療科教員

## 【実践的職業教育の推進】

### 1. 企業等と連携した授業の実施（職業実践専門課程）

職業実践専門課程は、専門学校（専修学校専門課程）のうち、企業などとの密接な連携により、最新の実務の知識等を身につけられるよう教育課程を編成し、より実践的な職業教育の質の確保に組織的に取り組むものを文部科学大臣が認定する制度です。

文部科学大臣が認定し、奨励することで、専門学校における職業教育の水準の維持・向上を行っていくことを目的としています。

#### (1) 最新動向を踏まえたカリキュラムを学べる

職業実践専門課程では、認定要件として、カリキュラムの編成から演習・実習の実施まで、企業などと学校が連携して取り組むため、最新実務の「知識」「技術」「技能」を実践的な方法で学ぶことができます。

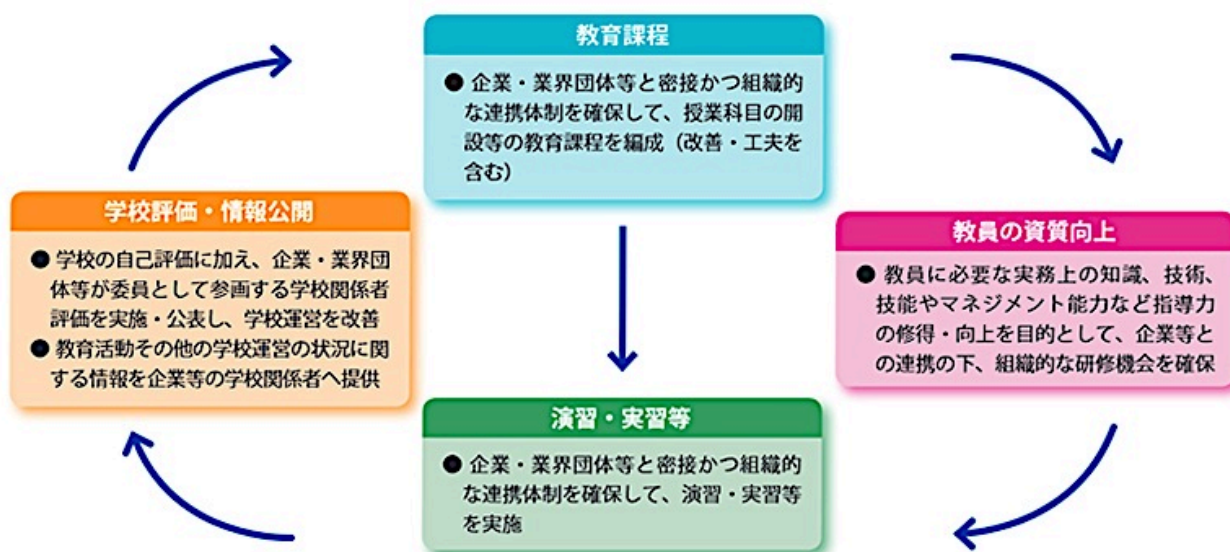
#### (2) 目指す自分・進路を明確にできる

職業実践専門課程として認定された専門学校は、学校のホームページに指定の様式を掲載し、情報提供を行います。

情報提供の様式には、学校の基本情報や認定要件の実施状況、カリキュラムの概要などが記載されるため、どのような授業が行われるのかがイメージしやすく、目指す自分・進路を明確にできます。

#### (3) 学校が教育の質の保証・向上に取り組んでいる

職業実践専門課程では、企業などと密接に連携し、実践的な職業教育の質の保証・向上に組織的に取り組む仕組みがあります。



## 2. 実技・実習への取組

### (1) 柔道整復師科

本校の柔道整復師科では、「日本古来からある整骨術を体系化し、現代の医療現場で役立つ教育」を目標にしています。日進月歩する医療技術と医療人としての高い意識を兼ね備えた人材を養成すべく、おもに1年次に展開される基礎科目から、より実践的な応用科目に至るまで、そのすべてが「臨床につながる」をテーマに授業展開しています。

1年次では、人体の構造と機能（解剖学と生理学）、とりわけ業務範囲の中心的位置付けとなる「筋骨格系」の理解に重点を置いた授業を展開しています。その一つが「触察実技」です。とかく解剖学は暗記に偏りがちです。そこで「触察実技」においては骨や関節など局所の構造をイメージしながら実際に触察を行うことで、骨格筋の形状および正常な関節運動を「理解できる」ことが可能となります。さらに固定実技においては機能解剖学に特化したファンクショナルテーピング法、基本包帯法を習得することで、テクニックのみならず施術者として必要な手の感覚を養うことができます。

2年次では、日常診療で遭遇することが多いとされる上肢や下肢に生じる外傷（骨折・脱臼・軟部組織損傷）について、その特徴を理解し、臨床現場での実践的な対応方法を学習します。具体的には、代表的な治療法である整復法や固定法について、その実施方法、手順、注意点などを系統的に学習します。これにより「損傷部位の状況把握」、「類似損傷との鑑別能力」、「合併症へのリスク管理」、「日常生活の指導管理における必要な説明」などが、模範解答を与えられる受動的な学習から、自ら考えて行動するといった能動的学習ができるようになります。この能動的学習力は、模範解答のない臨機応変な対応を求められる臨床現場において、とても重要であると考えています。

3年次では、1年次・2年次で身につけた基礎知識または基礎技術を「知っている」のレベルから「正しくできる」といったレベルに重点が置かれます。特に実技系の授業においては、「来院した患者に起こっている現在の状況を正しく評価（アセスメント）することによって、想定される疾患や傷病を推論し、どのように対処すれば良いか」といった「自ら思考し判断する授業」をおこなっています。その一例として、「ある傷病の模擬患者に対し、一定の時間内に施術を行う」ロールプレイ（役割演技）を積極的に授業に取り入れています。このロールプレイによって、「では、どうしたらよいのか」といった行動への気づきや他者受容、そのためのコミュニケーションなどの能力を高めるためのトレーニングになると考えています。また、臨床実習においては附属接骨鍼灸院での実習として患者の受付から、医療面接における患者とのコミュニケーション、施術録の書き方といった事務作業を含む日常業務を想定した学習が行われていることが特徴的です。



(2) 鍼灸師科

はり師、きゅう師は東洋医学を用いた施術だけではなく、スポーツトレーナーや美容関連など幅広い分野で活躍できる免許です。応用範囲が広いため、臨床で求められる技術や知識は多岐にわたりますが、それらは全て基礎の上に成り立っています。

1年次では基礎技術の習得を徹底し、安全で痛くない鍼の刺入や、熱傷に配慮した灸のすえ方等を身に付けます。1年次に基礎をしっかりと身に付ける事で2年次以降の応用実技の理解や技術習得が飛躍的に高まります。

2年次では応用実技として臨床で多く使用されている低周波鍼通電療法の習得や、肩こりや腰痛、その他整形外科疾患にポイントを絞った内容の実技・実習に取り組んでいます。より実践的な内容となるよう、鍼灸技術だけではなく、患者誘導やタオルワークなども実習中に取り入れています。また、2年終了時までに学習した技術や知識が繋がりをもって身に付いているかを評価するT&Aプログラム(Thought & Action program)といった本校独自の実技総合評価試験を行っています。これは、症例等の各課題に対し自ら考え実践する事で個人毎の課題抽出をおこなう事を目的としています。これにより個人毎の課題をいち早く抽出し、個人毎に苦手な項目について指導を受ける事が出来るようになります。一律の教育から、より個人の臨床能力のバラつきを減らす有効な手段と考えて取り組んでいます。また、3年次の臨床実習導入前に行う事で、学生の臨床に対する意識付けにも有効であると考えています。

3年次では最も実践的な教育として臨床実習に力を入れています。学生は少人数のグループに分かれ、それぞれのグループ単位で教員が1名ずつ指導に入ります。毎週それぞれのグループ単位で1名の代表者が教員の指導の下、一般の患者に対し、案内から医療面接、施術、診療録の記載までを行い、フィードバックを受けるシステムを構築しました。

以上の様に、横浜医療専門学校では、1年次に基礎、2年次で応用を学び総合評価による仮題抽出を行い、3年次で限りなく実践的な臨床実習とステップアップしていく取り組みを行っています。



| <h2 style="margin: 0;">平成26年度</h2> <h1 style="margin: 0;">T &amp; A</h1>   |      |       |      |             |   |             |    |           |   |                |    |                |   |              |  |      |      |      |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |    |    |   |   |    |    |   |   |    |    |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|--|------|-------|------|-------------|---|-------------|----|-----------|---|----------------|----|----------------|---|--------------|--|------|------|------|--|--|--|---|--|--|--|---|--|--|--|----|----|---|---|----|----|---|---|----|----|---|---|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|--|
| <p><b>意義</b></p> <p>現時点の実力の把握<br/>臨床実習に向けて課題の抽出</p>  |      |       |      |             |   |             |    |           |   |                |    |                |   |              |  |      |      |      |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |    |    |   |   |    |    |   |   |    |    |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| <p>T &amp; Aの結果</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th style="width: 15%;">学階</th> <th style="width: 20%;">学階番号</th> <th style="width: 25%;">氏名</th> <th style="width: 40%;"></th> </tr> </table>  |      | 学階    | 学階番号 | 氏名          |   |             |    |           |   |                |    |                |   |              |  |      |      |      |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |    |    |   |   |    |    |   |   |    |    |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 学階   | 学階番号 | 氏名    |      |             |   |             |    |           |   |                |    |                |   |              |  |      |      |      |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |    |    |   |   |    |    |   |   |    |    |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <th colspan="4">評定の見方</th> <th colspan="2">1: 大幅の改善が必要</th> <th colspan="2">2: 改善が必要</th> <th colspan="2">3: 標準的な実力</th> <th colspan="2">4: 臨床実習へ応用している</th> <th colspan="2">5: 医師職の準備レベル</th> </tr> <tr> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">治療方針</td> <td rowspan="2" style="vertical-align: middle;">鍼灸実技</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">臨床実技</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">穴</td> <td colspan="4" style="text-align: center;">穴</td> </tr> <tr> <td>自分</td><td>平均</td><td>西</td><td>東</td> <td>自分</td><td>平均</td><td>西</td><td>東</td> <td>自分</td><td>平均</td><td>西</td><td>東</td> </tr> <tr> <td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td> </tr> </table> |      | 評定の見方 |      |             |   | 1: 大幅の改善が必要 |    | 2: 改善が必要  |   | 3: 標準的な実力      |    | 4: 臨床実習へ応用している |   | 5: 医師職の準備レベル |  | 治療方針 | 鍼灸実技 | 臨床実技 |  |  |  | 穴 |  |  |  | 穴 |  |  |  | 自分 | 平均 | 西 | 東 | 自分 | 平均 | 西 | 東 | 自分 | 平均 | 西 | 東 |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 評定の見方  |      |       |      | 1: 大幅の改善が必要 |   | 2: 改善が必要    |    | 3: 標準的な実力 |   | 4: 臨床実習へ応用している |    | 5: 医師職の準備レベル   |   |              |  |      |      |      |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |    |    |   |   |    |    |   |   |    |    |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| 治療方針   | 鍼灸実技 | 臨床実技  |      |             |   | 穴           |    |           |   | 穴              |    |                |   |              |  |      |      |      |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |    |    |   |   |    |    |   |   |    |    |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |      | 自分    | 平均   | 西           | 東 | 自分          | 平均 | 西         | 東 | 自分             | 平均 | 西              | 東 |              |  |      |      |      |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |    |    |   |   |    |    |   |   |    |    |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
|  |      |       |      |             |   |             |    |           |   |                |    |                |   |              |  |      |      |      |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |    |    |   |   |    |    |   |   |    |    |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |
| <p>臨床実習に向けての課題</p> <p>学年全体の課題</p> <p>【総評】<br/>鍼灸実習は個人差はあるものの、概ね基本的な事は出来ていました。また、西洋・東洋の治療方針に関しては、どちらかに強みがある方もいらっしゃいますが、概ね応用できていない印象です。それ以外の項目に関しては、平均がとれているものもあればありますが、まだまだ改善の余地があります。T&amp;Aを継続し、自分たちの課題が明らかになったと思います。自身の強みを生かして臨床実習に向けて応用できる課題をクリアして行ってください。上記でもお伝えした通り、医師職を目指す学生の平均的な準備レベルですので、その点についてはご認識ください。</p> <p>【改善目標】<br/>導入部の終わった後には出来ていました。しかし、それ以降の質疑は課題が多かったです。不慣れな方もありますが、多分の方が共感的態度で応用できています。患者の話を聴き取る事も大切な事だと思います。また、適切なタイミングでの応用も大切です。臨床実習では治療の7、8割を決めるのも、西洋で学ぶ「治療の流れ」も、実際に使わなければならない力も発揮できないので、自分が患者になつた時の事を思いながら、それぞれの質問やチェックが何が必要なのかを整理し、身に落とさないでください。</p> <p>【期待】<br/>平均点が取れているように、みなさんの最大の課題が取れています。経絡研究は私たち鍼灸師にとって、外科学のメカにも等しい武器です。正解には無いと思いますが、いくつかが上手に取れても、到達線前が有利です。到達線を超えなければならない。到達線を超えれば、到達線は到達線です。自分の強みを活かして、自分の強みを生かして臨床実習に活用していきながら取ってほしいです。</p>  |      |       |      |             |   |             |    |           |   |                |    |                |   |              |  |      |      |      |  |  |  |   |  |  |  |   |  |  |  |    |    |   |   |    |    |   |   |    |    |   |   |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |  |

### 3. 就職支援

#### (1) 全国柔道鍼灸協同組合（全柔協）との連携

横浜医療専門学校は、医療の最前線に立つ治療家が「自分たちの手で後進を育てたい」との「情熱」で創設した学校で、全国の治療家などで行う全国柔整鍼灸協同組合を母体としています。

本校では全国柔整鍼灸協同組合との連携により、開業を目指す学生の皆さんを応援するために、開業場所・経営・保険取扱などに関するアドバイスとサポートを展開しています。

#### (2) 就職相談会の開催

横浜医療専門学校では、毎年10月に学校で就職相談会を開催しています。平成27年10月3日（土）に開催した就職相談会には、県内外から45社の担当者が来校し、盛会裏に終了しました。



#### (3) アルバイト・就職情報の提供

本校に在学中、また卒業してからもアルバイト・就職先を紹介しています。数多くの求人票を地域別で閲覧できるようにしており、求人担当と相談もできる環境が整っています。また、合格して、入学手続きを終了した方へアルバイト・就職先を紹介しています。入学前から治療院で勤務経験を積みたい方は、ぜひご相談ください。

### 4. 就職先の例

- (1) 柔道整復師科
- ・湘南ベルマーレ茅ヶ崎コンディショニングセンター
  - ・国府津接骨院
  - ・茅ヶ崎スポーツ接骨院
  - ・デイサービス晴 生田
  - ・東整形外科クリニック
  - ・勝俣接骨院
  - ・株式会社シー・エム・シー
  - ・きずな鍼灸整骨院
  - ・百合ヶ丘整形外科クリニック
  - ・桂林堂
  - ・名倉堂駅前鍼灸接骨院
  - ・せせらぎ鍼灸整骨院
  - ・コクア接骨院
  - その他、多数

- (2) 鍼灸師科
- ・株式会社 ROD 横浜鍼灸整骨院
  - ・さくらメディカル株式会社 さくら鍼灸整骨院
  - ・ムーヴアクション株式会社 西大井駅前鍼灸・整骨院
  - ・湘南ベルマーレ平塚コンディショニングセンター
  - ・本田鍼灸院
  - ・げんき堂整骨院 藤沢
  - ・緑ヶ丘鍼灸整骨院
  - ・泉堂はり灸院
  - ・湘南八景鍼灸整骨院
  - ・美容鍼専門サロン ブレア元町
  - ・美容鍼灸 TAKAHINA
  - ・桂林堂
  - ・よしだ鍼灸整骨院
  - ・もみの木整骨院
  - その他、多数

## 【教育活動・教育環境】

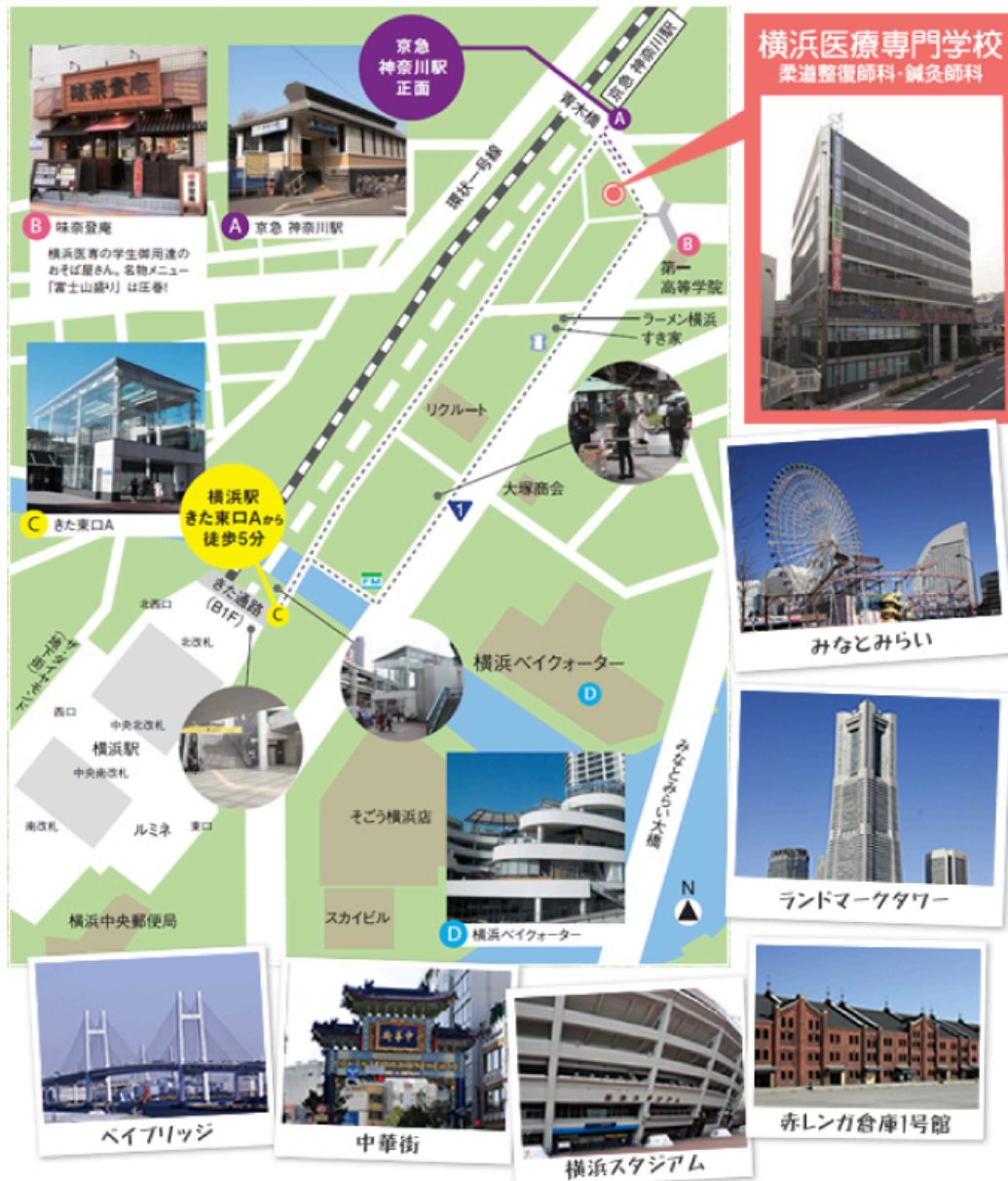
### 1. 学校行事

- ①入学式、オリエンテーション
- ②新入生歓迎会
- ③海外基礎医学研修
- ④トレーナー実地研修（湘南ベルマーレ、横浜 DeNA ベイスターズ）
- ⑤スポーツ大会
- ⑥就職相談会
- ⑦解剖見学実習 など

※課外活動に関しては以下の URL を参照して下さい。（横浜医療専門学校の課外活動）

<http://www.yokohama-isen.ac.jp/info/publication.html>

### 2. 教育環境





### 3. 教育設備

豊富な資料がそろった実習室や図書室、少人数制でしっかり学べる教室、柔道を学ぶ場となる広々とした講堂。横浜医療専門学校は設備面からも、学ぶ意欲を支えています。



#### ■ 7F 至誠講堂

柔道の実技にも使われる、広さ約272㎡の講堂です。



#### ■ 4F 基礎医学実習室

人体への知識を深めるための資料がそろっています。



#### ■ 4F 図書室

開架式の棚を設け、専門書も利用しやすくしています。



#### ■ 3～5F 実技室

臨床実技に使う、たくさんのベッドを用意しています。



#### ■ 2～5F 教室

プロジェクターを備えた、ゆとりのある教室です。



#### ■ 1F ロビー

解放感のあるオープンスペース。近くには事務室も。

## 4. 附属接骨鍼灸院

### 身近な医療現場で施術を見学。

校舎1階には接骨院・鍼灸院が併設されています。ここでは実習も行われ、学生にとっては目の前で実際の施術が学べる貴重な機会となっています。



### 美容鍼灸の施術も実施。

美容鍼灸とは、鍼灸師が医療知識を生かしてアプローチした美容法。附属鍼灸院では美容鍼灸の施術も行います。



## 【学生支援】

### 1. クラス担任制度

本校ではクラス担任制度を採用しており、クラス担任と学生との面談を積極的に行って修学上の種々の問題（勉学の問題、心理的な問題、経済的な問題など）の解決を図っています。

また、必要があると思われる場合には、クラス担任に加えて学科長、事務職員、あるいは保護者を交えて面談を行って問題の解決を図っています。

### 2. 学費サポート

#### (1) 日本学生支援機構 奨学金

|      |  |
|------|--|
| 資格   | 本校に在籍し、健康で成績優秀かつ学費の支弁が困難と認められる者。                                     |
| 貸与期間 | 採用月～卒業まで   |
| 採用時期 | 毎年4月   |
| 奨学金  | 第1種奨学金（無利子）…月額30,000円または53,000円(自宅通学の場合)・30,000円または60,000円(自宅外通学の場合) |
|      | 第2種奨学金（有利子）…月額30,000円～120,000円                                       |

※4月入学後に申し込みを受け付け、審査の上採用を決定します。採用定員枠があるため、すべての方が利用できるというわけではありません。

※平成28年3月高等学校卒業見込者の方は予約採用がございませぬ。在学にお相談ください。

## (2) 日本政策金融公庫 教育ローン

国が取り扱う教育資金融資制度です。低金利で融資を受けることができます。

|      |  |
|------|--|
| 対象   | 本校に入学・在学する者の保護者または本人（本人への融資は勤労学生に限る）<br>日本学生支援機構の奨学金と併用可能<br>受験前でも申込可能 |
| 融資額  | 学生・生徒一人につき350万円以内  |
| 返済期間 | 15年以内（平成27年2月10日現在）  |

※入学時の費用は、合格発表前に申し込むことができます。詳しくはコールセンターまでお問い合わせください。  
（教育ローンコールセンター TEL:0570-008-656）

## (3) オリентコーポレーション 学費サポートプラン

学費を学費負担者に代わってオリентコーポレーションが学校に一括納入し、毎月所定の金額を分納返済する制度です。

|            |  |
|------------|--|
| ご利用いただける方  | 横浜医療専門学校に進学または在学する子弟をお持ちの安定した収入のある保護者（法定代理人）の方。<br>*審査内容により保証人様をいただく場合やお取り扱いができない場合がございます。 |
| 御利用いただける学費 | 入学金・授業料等   |
| 返済利率       | 実質年利4.2%（固定金利）   |
| 利用金額       | 10万円以上～500万円以下   |
| 返済方法       | 毎月27日に指定口座から自動振替   |
| 振込み先       | 利用金額は直接学校へ納入されます。  |

※詳しくは オリентコーポレーションWeb学費サポートプランOrico

お電話でのお問い合わせは

フリーダイヤル：0120-517-325

株式会社オリентコーポレーション学費サポートデスクまで

#### (4) 専門実践教育訓練給付金制度

労働者や離職者が、自ら費用を負担して、厚生労働大臣が指定する教育訓練講座を受講し修了した場合、本人がその教育訓練施設に支払った経費の一部を支給する雇用保険の給付制度です。平成 26 年 10 月から、教育訓練給付金は、従来の枠組みを引き継いだ「一般教育訓練の教育訓練給付金」と、拡充された「専門実践教育訓練の教育訓練給付金」の 2 本立てになります。

受講開始日現在で雇用保険の被保険者であった期間が 10 年以上（初めて支給を受けようとする方については、当分の間、2 年以上（※ 1））あること、前回の教育訓練給付金受給から今回の受講開始日前までに 10 年以上（※ 2）経過していることなど一定の要件を満たす雇用保険の一般被保険者（在職者）又は一般被保険者であった方（離職者）が厚生労働大臣の指定する教育訓練を受講し修了した場合に支給。

※ 1 平成 26 年 10 月 1 日前に旧制度の教育訓練給付金を受給した場合であって、初めて専門実践教育訓練を受給しようとする場合は 2 年、同年 10 月 1 日以降に旧制度の教育訓練給付金又は一般教育訓練給付金の支給を受けた場合は 10 年以上。

※ 2 平成 26 年 10 月 1 日前に教育訓練給付金を受給した場合はこの取扱は適用されません。

教育訓練施設に支払った教育訓練経費の 40%に相当する額となります。ただし、その額が 1 年間で 32 万円を超える場合の支給額は 32 万円（訓練期間は最大で 3 年間となるため、最大で 96 万円が上限）とし、4 千円を超えない場合は支給されません。

専門実践教育訓練の受講を修了した後、あらかじめ定められた資格等を取得し、受講修了日の翌日から 1 年以内に一般被保険者として雇用された方又はすでに雇用されている方に対しては、教育訓練経費の 20%に相当する額を追加して支給します。この場合、すでに給付された（1）の訓練経費の 40%と追加給付 20%を合わせた 60%に相当する額が支給されることとなりますが、その額が 144 万円を超える場合の支給額は 144 万円（訓練期間が 3 年の場合、2 年の場合は 96 万円、1 年の場合は 48 万円が上限）とし、4 千円を超えない場合は支給されません。

専門実践教育訓練の教育訓練給付金を受給できる方のうち、受講開始時に 45 歳未満で離職しているなど、一定の条件を満たす場合には、訓練受講をさらに支援するため、「教育訓練支援給付金」が支給されます。教育訓練支援給付金は、平成 30 年度までの暫定措置です。支給申請の詳細については、お住まいの地域を管轄するハローワークにご確認ください。

### 3. 横浜医療専門学校独自の奨学金

#### (1) 両科在籍制度による入学者

本校のいずれかの学科に入学した者で、他方の学科に同時に在籍する者又は卒業生を対象とした制度であり、1学科分の入学検定料2万円を免除するとともに、毎年度48万円の奨学金を支給します。ただし、原級留置となった年度については支給しません。

#### (2) 社会人推薦入試制度による入学者

医療系国家資格者、開業している柔道整復師・鍼灸師の子弟、卒業生及び本校が指定する団体に加入する治療所勤務者を対象とした納付金の減免制度であり、入学年度に限り、社会人推薦入試制度による入学者については12万円、両科在籍制度による入学者については24万円を減免します。

- ・医師
- ・歯科医師
- ・看護師
- ・薬剤師
- ・柔道整復師
- ・はり師
- ・きゅう師
- ・あん摩マッサージ指圧師
- ・理学療法士
- ・作業療法士
- ・臨床工学技師
- ・歯科衛生士
- ・診療放射線技師
- ・義肢装具士
- ・言語聴覚士
- ・管理栄養士
- ・臨床検査技師
- ・視能訓練士 など

- ・公益社団法人全国柔整鍼灸協会
- ・東京鍼灸マッサージ協同組合
- ・横浜医療専門学校附属治療院
- ・公益社団法人全日本鍼灸マッサージ師会
- ・公益社団法人神奈川県鍼灸師会
- ・公益社団法人神奈川県柔道整復師会
- ・一般社団法人神奈川県鍼灸マッサージ師会
- ・特定非営利活動法人全国鍼灸マッサージ協会
- ・株式会社湘南ベルマーレ
- ・株式会社横浜DeNAベイスターズ

#### (3) 指定校推薦入試制度による入学者

本校が指定する高等学校等の学校長の推薦により入学した者を対象とした納付金の減免制度であり、入学年度に限り24万円を減免します。

#### (4) 家計困窮者に対する納付金の減免

生活保護世帯、市町村民税所得割非課税世帯及び家計の急変した世帯、及び家計困窮度が、本校が定める家計基準を満たす者を対象とした納付金の減免制度です。詳しくは本校事務室にお問い合わせ下さい。

## 【学生の受入れ募集】

### 1. オープンキャンパス (10時~12時)

- (1) 学校・柔道整復師科・鍼灸師科説明
- (2) 入試説明
- (3) 第一部(選択式) 体験授業・座学授業・個別相談
- (4) 第二部(選択式) 体験授業・座学授業・個別相談
- (5) 個別相談・終了・随時解散

## 2. 夜間学校説明会（18時30分～20時30分）

- (1) 学校全体説明
- (2) 授業見学
- (3) 附属接骨鍼灸院見学
- (4) 後者施設見学
- (5) 個別相談

## 3. 入学試験

|                      |                                |                           |                        |
|----------------------|--------------------------------|---------------------------|------------------------|
| <b>AO入試</b><br>課題・面接 | <b>推薦入試</b><br>小論文(800字)<br>面接 | <b>社会人推薦入試</b><br>基礎学力・面接 | <b>一般入試</b><br>基礎学力・面接 |
|----------------------|--------------------------------|---------------------------|------------------------|

### ○ AO入試

次の項目すべてに該当する者

- ①高等学校もしくは中等教育学校および高等学校に準ずる教育機関を平成29年3月卒業見込の者および平成28年3月に卒業した者
- ②本校の実施する「オープンキャンパス」「学校説明会」「学校見学」に参加し、アドミッションポリシーを理解した上で本校への入学を希望する者

### ○ 推薦入試

次の項目すべてに該当する者

- ①高等学校卒業生および高等学校もしくは中等教育学校および高等学校に準ずる教育機関を平成29年3月卒業見込の者
- ②出身高等学校の学校長・教諭・クラブ顧問が推薦する者

### ○ 社会人推薦入試

次の項目すべてに該当する者

- ①高等学校卒業生（または大学入学有資格者）で、2年以上の職業経験を持ち、平成29年4月1日時点で満20歳以上に達する者
  - ②医療に関係する資格を有する者が推薦する者
- ※推薦が得られない場合は本校事務室までご相談下さい。

### ○ 一般入試

次の項目のいずれかに該当する者

- ①高等学校もしくは中等教育学校を平成29年3月卒業見込みの者および卒業した者
- ②高等専門学校（5年制）の第3学年を平成29年3月に卒業見込みの者または卒業した者
- ③大学入学資格がある者として文部科学大臣が指定した者
- ④高等学校卒業程度認定試験（大学入学資格検定を含む）に合格した者で平成29年3月31日までに18歳に達する者
- ⑤通常の課程による12年の学校教育を終了した者および平成29年3月終了見込みの者
- ⑥その他、本校が認めた者

#### 4. 学生納付金

| 柔道整復師科<br>鍼灸師科 | 1年次       |         |         | 2年次以降     |         |         |
|----------------|-----------|---------|---------|-----------|---------|---------|
|                | 一括        | 2分割     |         | 一括        | 2分割     |         |
|                | 入学時       | 入学時     | 9月20日   | 3月20日     | 3月20日   | 9月20日   |
| 入学金            | 240,000   | 240,000 | -       |           |         | -       |
| 授業料            | 840,000   | 420,000 | 420,000 | 840,000   | 420,000 | 420,000 |
| 施設管理費          | 240,000   | 120,000 | 120,000 | 240,000   | 120,000 | 120,000 |
| 実習費            | 200,000   | 100,000 | 100,000 | 200,000   | 100,000 | 100,000 |
| 合計             | 1,520,000 | 880,000 | 640,000 | 1,280,000 | 640,000 | 640,000 |

- ・納入につきましては年額を一括でお支払頂くのを原則としておりますが、分割も可能です。
- ・その他、入学前の2月中旬に教科書代・白衣代などが必要となります。
- ・分割納入時期（2分割の場合）2回目は9月20日となります。
- ・また、2年次以降1回目の納入は前年度の3月20日となります。

※入学時のみ学友会費として別途50,000円を入学時納付金と共に納入していただきます。（学生校内行事・卒業アルバム・謝恩会など、学友会の活動に使用）

#### 【財 務】

以下のURLで公表しています。（事業報告書）

<http://www.yokohama-isen.ac.jp/info/publication.html>

#### 【自己評価・学校関係者評価】

以下のURLで公表しています。（自己評価結果、学校関係者評価委員会報告書）

<http://www.yokohama-isen.ac.jp/info/publication.html>